

第6波における医療提供体制

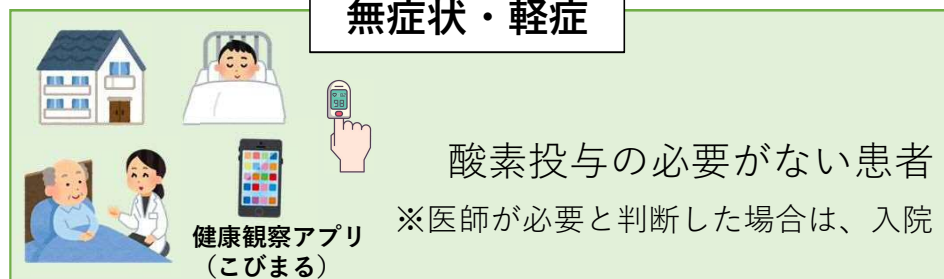
資料 4

第5波までに整備した体制

自宅・宿泊療養

自宅療養者に対する電話診療のほか往診、訪問看護などの体制の強化

無症状・軽症



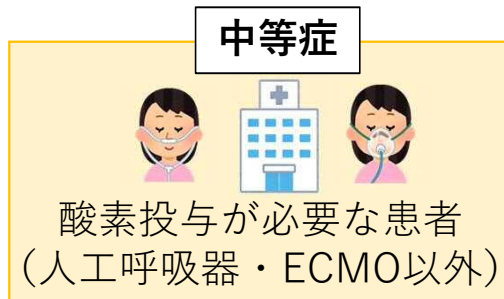
酸素投与の必要がない患者
※医師が必要と判断した場合は、入院

健康観察アプリ (こびまる)

重点医療機関等

機能分化 (要介護、透析、妊婦・小児等) を進めることで、役割分担を明確化し、医療機関の負担軽減

中等症



酸素投与が必要な患者 (人工呼吸器・ECMO以外)

重症



酸素投与が必要な患者 (人工呼吸器・ECMO)

第6波における強化した体制

治療薬等の活用

ワクチンの追加接種 (3回目)

抗体薬 (点滴) の投与体制の再整備

抗体薬 (ゼビュディ) の活用促進 (入院、往診等)

経口薬の処方体制の整備

- ・入院患者
⇒院内処方にて対応
- ・外来患者、自宅療養者
⇒医療機関から対応薬局に処方箋を送付し、対応薬局(327か所)から療養先へ薬剤を配送



診療体制等の整備

高齢者 (要介護) の入院受入医療機関の拡大

- ・入院受入医療機関へ協力要請を行い、30医療機関163床まで受入病床を拡大

外来診療体制の強化

- ・小児対応が可能な発熱外来を札幌市公式ホームページ上で公表

入院受入病床の状況

➤ 市内の感染状況は、新規感染者数に下げ止まりがみられ、入院患者数の増加に予断を許さない状況

	フェーズ2		フェーズ3	フェーズ2		
	1月26日	2月9日	3月1日	3月23日	4月1日	4月11日
① 確保病床数	515	524	640	568	568	568
② 高齢者（要介護）受入可能病床数	115 12医療機関	135	163	163	163	163 30医療機関
③ 入院患者数（市外患者含む）	140	300	284	154	95	159
④ 入院患者数：高齢者（要介護）	33	129	148	64	39	56
⑤ 確保病床使用率（③÷①）	27.2%	57.3%	44.4%	27.1%	16.7%	28.0%
⑥ 高齢者病床使用率（④÷②）	28.7%	95.6%	90.8%	39.3%	23.9%	34.4%

中和抗体薬（点滴薬）・経口薬の治療実績

（1）中和抗体薬（ゼビュディ）の治療実績

	1月21日	4月4日
入院受入医療機関の34病院（40病院のうち39病院登録済み）	80	919

※ オミクロン株にも効果のあるゼビュディの活用体制の強化を図っている

（2）抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の治療実績

	1月21日	4月4日
入院受入医療機関の38病院（40病院中）を含む39か所の医療機関等	515	516

※オミクロン株に対しては、中和活性が低下することから投与が推奨されていない（厚労省）

（1） + （2） 中和抗体薬（点滴薬）の治療実績 **合計 1,435人(+840)**

（3）経口薬（ラゲブリオ）の治療実績

	1月21日	4月4日
入院受入医療機関の28病院（40病院のうち40病院登録済み）を含む医療機関等	9	1,345

（4）経口薬（パキロビッド）の治療実績

	1月21日	4月4日
入院受入医療機関の9病院（40病院のうち40病院登録済み）を含む医療機関等	-	40

（3） + （4） 経口薬の治療実績 **合計 1,385人(+1,376)**